

## 特別養護老人ホーム愛生苑 生活の手引き(Q&A)

### 施設概要について

Q1、経営母体と提供サービスについて教えてください。

A1、経営母体は「社会福祉法人 愛生会」です。

特別養護老人ホーム以外のサービスでは

デイサービスセンター、ショートステイ、ケアハウス、相談窓口として在宅介護支援センター、八千代市村上地域包括支援センターがあります。

また、「株式会社 愛生」として有料老人ホームも運営しています。

Q2、職員数はどれくらいですか

A2、法人全体で、約95名です。

Q3、特別養護老人ホームの職員・入居者数は何人ですか

A3、職員数は30人です。常勤職員が18名、非常勤が12名です。

そのうち、男性職員は9名です。(平成 22 年4月1日)

入居者数は、特別養護老人ホームが56名、ショートステイが14名の合計70名です。

Q4、職員の勤務体制はどうなっていますか

A4、上記職員のうち、日中の出勤者数は8~10名、夜勤者は3名です。

なお、部屋の配置が1~3階に分かれている為、フロアごとに職員の配置数は異なります。

フロアごとの定員は 1階:12名 2階:38名 3階:20名です。

### 日常生活について

Q5、1日の流れを教えてください

A5、その方の生活スタイルによっても異なってきますが、

6:30 起床

7:30 朝食

10:30 お茶

12:00 昼食

14:30 水戸黄門体操  
おやつ  
17:45 夕食  
20:00 お茶(起きている方のみ)  
21:00 消灯

以上が基本の生活です。合間に入浴、排泄、レクリエーションなどの時間があります。  
また、夜中は1時間おきに夜勤者が巡回をしています。

Q6、レクリエーションはどんな物がありますか？

A6、特養は食事・排泄・入浴等の最低限必要な生活をお手伝いする事が、最優先となっており、デイサービスなどのように常に楽しみが待っている訳ではありません。  
そのような中、音楽療法・ビデオ鑑賞会・生け花などを定期的に行い、クッキングやお楽しみおやつ・誕生日会などが随時行なわれています。年間計画の中には、お花見など外出行事や、夏祭り・初詣・ピアガーデンなど盛大に楽しめる企画もあります。  
また、固定行事ではないですが、まぐろの解体ショーや各種慰問なども行い、皆様に楽しんで頂けるよう努めております。

Q7、リハビリはできますか？

A7、リハビリ専門の指導員や設備はありません。

ですので、専門的なリハビリは行えませんが、トイレに行く際に短い距離で歩いてみるとか支えながら立ってみるなど、生活動作の中に簡単な動作を入れる取り組みは行っています。また、レク活動の一環としてダンベルやボールを使った運動や毎日ラジオ体操・水戸黄門体操を行い身体機能の維持に役立てています。

Q8、外泊・外出は可能ですか？

A8、苑の企画としては、お花見や買い物・外食などの企画がありますが、お1人についてみると年に1~2回程度です。

御家族による外出・外泊はいつでも可能です。体調などでご遠慮いただくこともあるので、事前にご連絡をお願いします。

Q9、食事内容はどのようなものですか？

A9、管理栄養士が考えた栄養たっぷりのメニューでやはり和食が多いようですが、カレーライスやハンバーグなどの洋食、らーめんや餃子などの中華も出ます。苦手な物は代替食で対応できます。またその方の飲み込みの力に応じて、細かく刻んだ食事や流動食などにも出来ます。

いつもの食事以外でも、職員が目の前で作る「屋台らーめん」などのイベント食もあり、みなさまに人気です。

Q10、お風呂は毎日入れるのですか？

A10、ごめんなさい。集団生活で一つの浴室を使い交代で入るので、週に2回のみとなります(厚生労働省基準省令に則した回数です)。

お風呂は大浴場や座ったまま又は寝たまま入れる機械浴もあり、その方のお体に応じた形態で安心して入っていただけるようにしています。

Q11、持ち物はどんな物が必要ですか

A11、最低限必ずご用意いただく物は、

・衣類(季節に合わせ2~3組程度)

洗濯は苑で行ないますが、乾燥機にかけるので縮みやすい物はご遠慮下さい。

・上履き

・コップ(プラスチック製)、歯ブラシ、入れ歯ケース(入れ歯使用の方)

以上の物があれば、苑での生活は可能です。(タオル、バスタオル、石鹸、シャンプーなどは全て愛生苑でご用意いたします)

趣味の物や装飾物などは危険でない範囲でお持ちいただいて結構です。

なお、所持品には全てお名前をご記入下さい。

**医療体制について**

Q12、医師はいますか？

A12、いません。囑託医という形態で協力病院から一人こられますが、週に1回のみです。

「特別養護老人ホーム」という施設は「生活の場」として位置づけられており「医療機関」ではありません。看護師が在籍しますが、基本的に医師の指示を受けて動く為、ご家庭での生活と同様、体調不良などあれば受診することが基本となり必要に応じ入院もあります。また、看護師は日中のみで、夜勤は行ないません。

**Q13、協力病院とは？**

A13、八千代市米本にある「新八千代病院」が協力病院となります。

協力内容としては、医師の回診が毎週金曜日にあり、定期処方もその際に出ます。その他通常の受診対応と入院受け入れです。

なお新八千代病院は「療養型」の病院となっており、内科的治療には対応しておりますが、手術など積極的な治療は行なわない機能の病院となっています。そのような対応が必要な(または希望される)時には、他の病院を紹介受診となります。

但し、現在新八千代病院は愛生苑も含め8施設との協力体制をとっており、入院対応などが希望通りにいかないこともあります。

そこで、八千代市大和田新田の「岡崎外科」にも、入院などでご協力を頂いております。

**Q14、病院受診時に付き添いは必要ですか？**

A14、通常受診では必要ありません。愛生苑の看護師と送迎担当(生活相談員など)が同行して行きますので、御家族の方にはご負担のないように対応させて頂いております。ただ、治療方針の判断を求められるなど御家族でないと決められない内容が予想される時には、ご同行をお願いする場合もあるので一概には言えないところです。また、入院となった場合には御家族にも病院にお越しいただいております。

**Q15、入院が長引いた時の扱いはどうなりますか？**

A15、入院中のベッド確保期間は3ヶ月を目安とし(契約書 第8条)退院の目途が立たない時は、契約解除(退所)とさせて頂きます。その間のご負担は1日あたり246円で、費用の発生は最大で12日間となり、それ以降はご負担はありません。なお、3ヶ月の期間内でも空きベッドはショートステイなど他の利用者の方に使用することもありますので、ご了承下さい。

愛生苑での生活がイメージして頂けたでしょうか。何かご不明な点などありましたら、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。少しでも安心して楽しい生活を過ごしていただけるよう努めてまいります。

なお、この手引きの内容は平成22年1月作成時点での物で、施設の方針や介護保険法の内容変更に伴い、変わってくることもありますので、ご了承下さい。